

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	合同会社 恵
代表者	渡邊 典子
事業所名	小規模多機能型介護 縁の恵
管理者	阿部 博樹
実施日	令和 7 年 2 月 14 日
報告日	令和 7 年 4 月 25 日

法人・事業所
の特徴

- ・利用者様の気持ちに寄り添い、利用者様の尊厳ある生活を支援しています。
- ・安心安全を提供し、住み慣れた地域の中でその人らしく生活が継続出来るようお手伝いさせていただいております。
- ・ご家族様や地域の皆様とのつながりを大切にし、皆様から信頼される事業所であることを心掛けております。

実施日の 出席者	苫小牧市職員	地域包括支援 センター職員	町内会役員	民生委員	利用者家族	その他	事業所職員	合計
	1 人	1 人	2 人	1 人	人	人	8 人	13 人

前回の目標	取組み内容
認知症理解と虐待について学び、スキルアップを図る。	①具体的事例を通して、認知症と虐待について内部研修を行った。 ②外部研修に参加する機会を設けた。 ③年間研修計画に取り入れ、職員の知識・技術を身に付ける機会を設けた。 ④ミーティングや会議を通して、職員の相互理解を深めた。
的確な声掛け、見守り、支援を行い転倒等の事故防止を図る。	①ケース会議を行い、利用者個々の行動特性やリスクを理解し職員相互の連携を図った。 ②年間研修計画に取り入れ、職員の知識・技術を身に付ける機会を設けた。 ③外部研修に参加する機会を設けた。
	上記の取組み期間を令和6年4月1日～令和7年3月31日までとする。
今回の目標	取組み内容(予定)
利用者の生活の質・介護の質の向上	①LIFEの資料を活用し、職員会議で利用者の介護の質・生活の質において話し合いケアプラン反映して介護現場で実践する。 ②研修会を開催し、生活の質・介護の質についての理解を深める。 ③外部研修に参加する。
業務の見直し・業務の改善を行う。	①業務を見直し、無駄を省くよう個人が考え「時間の有効活用」について考える。 ②職員の「適切な役割分担」について会議で話し合いを行う。 ③業務改善に取り組み、職員の技術向上に繋げる。
	上記の取組み期間を令和7年4月1日～令和8年3月31日までとする。

【設問の評価について】

○： はい
×： いいえ
△： わからない

設問		評価	意見等
自己評価の確認	1 事業所自己評価は、スタッフの意見を反映し実施されているか。	△	計画書の見直しや、定期的な会議の開催が行われている。
	2 前回の改善目標に対して、具体的な取組みが行われていたか。	○	
	3 今回の自己評価に対する改善目標が1つ以上立てられているか。 (改善目標の内容について事業所から説明があったか。また、改善目標がない場合は自己評価内容と比べてそれが妥当であるか。)	○	
事業所の様子	4 事業所内や周囲の環境は清潔な状態が保たれているか。 (不快な臭い等はないか)	○	
	5 事業所内は居心地のよい空間になるよう工夫されているか。 (明るさ、装飾、生活音等に配慮がされているか。)	△	
	6 事業所は訪問しやすい雰囲気になっているか。 (外観的工夫、内部での応対等が適切であるか。)	○	
連携・共同	7 運営推進会議では、事業所の取組みが解りやすく説明されているか。 (資料等はわかりやすいものになっているか。)	○	①地域と施設の交流機会について今後の方針を知りたい。 ②地域との関りを重視して良い交流ができていると感じた。
	8 運営推進会議で出た意見等を改善につなげているか。	△	
	9 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画しているか。	○	
	10 事業所のスタッフ及び利用者は、地域の行事やイベントに参加しているか。または、参加状況について報告等を受けたことがあるか。	○	
	11 利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は関わっているか。	△	
	12 事業所に対する意見や要望等を伝えやすい関係が構築されているか。	○	

【その他意見等】

・利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は関わっているかの問いに関して、事業所として実例があるのか、また実際にどのような関りがあるのか知りたい。